

学習課題（予習・復習）	1回の学習目安 （時間）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義範囲・内容が多岐にわたるため、その都度提示された資料を確認し、理解を深める ・ 書籍、文献、Web サイト、患者用パンフレットなど様々な資料から、情報を整理して用いる 	4
授業計画	
第1回	<p>1. 栄養ケアマネジメント</p> <p>栄養評価、摂食・嚥下機能の評価、口腔機能とその評価、オーラルフレイル</p> <p>嚥下障害、口腔機能低下症、低栄養、脱水、様々な栄養療法</p> <p>レポート①：献立作成 尿路感染症/るい瘦</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第2回	<p>2. 皮膚のケア</p> <p>痒みの評価、皮膚掻痒症、スキンケア</p> <p>褥瘡リスク評価、褥瘡予防、褥瘡評価、褥瘡ケア</p> <p>レポート②：褥瘡重症度評価とケア計画 脳梗塞/頸動脈狭窄/rtPA療法</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第3回	<p>3. 排泄自立支援</p> <p>加齢性の身体変化と排泄機能</p> <p>排尿排便のアセスメント、排泄日誌</p> <p>レポート③：排尿日誌</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第4回	<p>4. 排泄障害とその看護</p> <p>排尿障害 尿失禁 前立腺肥大 自己導尿</p> <p>排便障害 便秘 便失禁 IAD 失禁関連皮膚炎</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第5回	<p>5. 呼吸・循環を支える看護</p> <p>活動耐性の評価、運動機能の評価</p> <p>浮腫、心不全、睡眠障害</p> <p>レポート④：心不全の病態理解と患者指導 僧帽弁閉鎖不全症/うっ血性心不全</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第6回	<p>6. 歩行・移動を支える看護</p> <p>ADL・移動能力・生活機能の評価</p> <p>骨粗鬆症、骨折、廃用症候群、深部静脈血栓症</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第7回	<p>7. 診断治療に伴う看護</p> <p>高齢者の薬物動態、薬物療法、痛みの評価</p> <p>手術療法、意思決定支援、せん妄の評価と予防</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第8回	<p>8. 加齢性疾患と看護 脳・神経</p> <p>脳卒中、パーキンソン病</p>

	<p>リハビリテーション看護、言語障害</p> <p>レポート⑤：リハビリテーション看護 AMI、COPD、PD、PAD、CI、RA、ALS いずれか選択</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第9回	<p>9. 加齢性疾患と看護 呼吸・循環</p> <p>高血圧症、不整脈</p> <p>肺炎、COPD、肺がん</p> <p>レポート⑥：病態看護問題関連図 COPD 事例患者</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第10回	<p>10. 加齢性疾患と看護 眼・感染症</p> <p>白内障、緑内障、加齢黄斑変性症</p> <p>尿路感染症、ノロウイルス感染症</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第11回	<p>11. 認知症/せん妄の看護</p> <p>認知症の分類、MCI、中核症状とBPSD、認知機能の評価</p> <p>認知症の非薬物療法、タクティールケア、Twiddle Muff</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第12回	<p>12. 下肢血流評価、創傷看護</p> <p>下肢血流評価、虚血性潰瘍の評価、高度創傷処置</p> <p>大動脈解離・下肢動脈閉塞疾患患者の看護、フットケア</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第13回	<p>13. エンドオブライフケア</p> <p>終末期の看護、看取りの場、望ましい死</p> <p>意思決定支援、事前指示書、POLST</p> <p>レポート⑦：ACP 家族意見聴取</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第14回	<p>14. 高齢者のフィジカルアセスメント①【演習】</p> <p>医療面接、病歴聴取、生活歴聴取、身体診査、バイタルサイン測定</p> <p>低栄養リスク、転倒転落リスク、褥瘡リスク、日常生活自立度、認知機能、視覚聴覚の評価</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第15回	<p>15. 高齢者のフィジカルアセスメント②</p> <p>医療面接、病歴聴取、生活歴聴取、身体診査、バイタルサイン測定</p> <p>低栄養リスク、転倒転落リスク、褥瘡リスク、日常生活自立度、認知機能、視覚聴覚の評価</p> <p>レポート⑧：COPD 事例患者のデータベースの作成</p> <p>担当：溝部昌子</p>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ナーシング・グラフィカ 老年看護学②高齢者看護の実践 MC メディカ出版 ・看護学テキスト NiCE エンドオブライフケア, 南江堂 ・ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑥眼耳鼻咽喉歯口腔皮膚 MC メディカ出版 ・ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑦運動器 MC メディカ出版

<p>参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山田 律子:生活機能からみた 老年看護過程 第3版, 医学書院 2016 ・真田弘美他編著:看護学テキスト NiCE 老年看護学技術改訂第3版, 南江堂 ・日本老年医学会:改訂版健康長寿診療ハンドブック, メジカルレビュー社 ・日本看護科学学会:看護ケアのための摂食嚥下時の誤嚥・咽頭残留アセスメントに関する診療ガイドライン ・日本褥瘡学会:褥瘡予防・管理ガイドライン(第4版)2015、(第5版)2022 ・日本創傷・オストミー・失禁管理学会編 IAD-set に基づく IAD の予防と管理 IAD ベストプラクティス ・真田弘美他編:役立つ!使える!看護のエコー, 照林社 2019
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>レポート課題 8回 60%、それぞれ A-B-C3 段階評価を付し、返却します</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢性の心身の変化、保健福祉学入門、看護形態機能学、疾病学各論、看護学概論、看護過程論、生活援助技術論、診療関連技術論、成人・老年看護学概論での学修は老年看護方法論の学びの基盤となります。 ・基本的なアセスメントやケア技術に加えて、加齢による心身変化に対応できる老年看護学特有のアセスメント方法や高度で繊細な技術が求められます。 ・患者さんや家族に説明することをイメージしながら、知識や技術をしっかりと自分のものにしていきましょう。